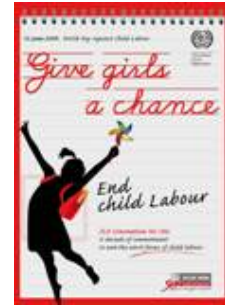




2009年 児童労働反対世界デー



Give girls a chance: End child labour

少女たちにチャンスをと：児童労働を終わらせよう

主催：ILO駐日事務所

後援：ユニセフ東京事務所、UNDP東京事務所、国連人口基金東京事務所、(財)日本ILO協会

ILOは6月12日を児童労働反対世界デーと定め、世界中で児童労働のことを知り、児童労働をなくすための取り組みを進めるよう、活動を行っています。

今年のテーマは、**少女たちと児童労働**。世界で約1億人の少女たちが、教育を受けることもできずに、児童労働で働いています。

少女たちは、どのように働かされているのでしょうか？少女たちが特に弱い立場に置かれているのは何故でしょうか？少女たちを児童労働から救い出し、貧困から抜け出す道筋を見つけるには、何が必要なのでしょうか？

最悪の形態の児童労働に関するILO182号条約の採択から10年。**少女たちと児童労働**をテーマに、この問題を考え、児童労働を終わらせるための取り組みについて話し合しましょう。

日時：6月12日(金) 午後6時30分～8時30分

場所：女性と仕事の未来館 第1セミナー室

(東京都港区芝5-35-3、JR田町駅三田口、都営浅草線・三田線三田駅A1出口)

プログラム：

- 長谷川 真一 ILO駐日代表 「少女たちにチャンスをと：児童労働を終わらせよう」
- 功刀 純子 ユニセフ東京事務所代表 「少女を対象とするユニセフの活動」(仮題)
- 鈴木 陽子 JICA国際協力専門員 「開発と女性：なぜジェンダーの取り組みが重要か」

参加ご希望の方は、お名前・ご所属・連絡先を明記のうえ、メールilo-tokyo@ilotokyo.jpかファックス **03-5467-2700** でILO駐日事務所までお申込み下さい。(100名、参加費無料)

同時開催：写真パネル展「少女たちと児童労働」

日時：6月9日(火)15:00 - 14日(日)14:00

6月10日(水) - 13日(土) は、9時30分～21時

場所：女性と仕事の未来館 企画展示ロビー